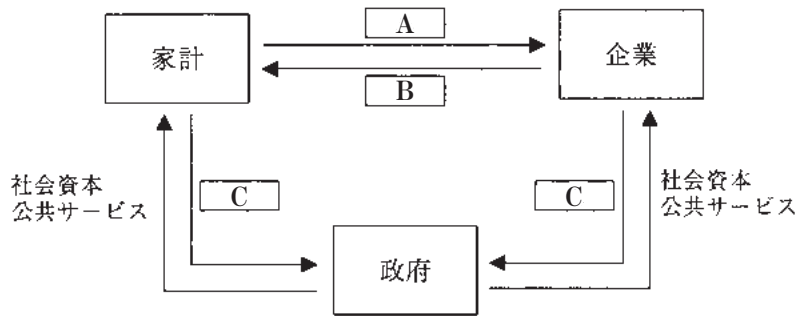


⑧ 105 経済循環

〈愛媛〉

右の図は、我が国の、家計、企業、政府の、経済活動における結びつきを模式的に表したものである。図中のA～Cにそれぞれ当てはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。



- ア {A 商品 B 労働力 C 税金}
- イ {A 商品 B 税金 C 労働力}
- ウ {A 労働力 B 商品 C 税金}
- エ {A 労働力 B 税金 C 商品}

106 財政・財政政策

〈神奈川〉

次の各問いに答えなさい。

- (1) Kさんは日本の一般会計について調べ、次の表を作成した。あとの文a～dのうち表から読み取れることの組み合わせとして最も適するものを、ア～カの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

表 一般会計における歳出総額と税収額

年度	1985	1995	2005	2015	2024
歳出総額(兆円)	53.0	75.9	85.5	98.2	126.5
税収額(兆円)	38.2	51.9	49.1	56.3	73.4

(財務省ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

- a 表中のすべての年度で、税収額は歳出総額の8割を上回っている。
- b 2015年度から2024年度までの歳出総額の増加額は、1985年度から1995年度までの歳出総額の増加額よりも大きい。
- c 表中の年度において、歳出総額と税収額の差が最も小さいのは1985年度である。
- d 表中の年度において、税収額は増加し続けている。

- ア aとb イ aとc ウ aとd エ bとc オ bとd カ cとd

- ⑧(2) 次の文は、景気対策として政府がおこなう財政政策についてKさんがまとめたものである。文中の□A～□Cに入る語句の組み合わせとして最も適するものを、あとのア～クの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

景気が悪いときの対策として、政府は社会資本の整備などへの支出を□Aさせたり、□Bしたりすることで、企業や家計のお金を□Cし、消費を拡大させるなどの方法がある。

- ア A：増加 B：増税 C：増や
- イ A：増加 B：増税 C：減ら
- ウ A：増加 B：減税 C：増や
- エ A：増加 B：減税 C：減ら
- オ A：減少 B：増税 C：増や
- カ A：減少 B：増税 C：減ら
- キ A：減少 B：減税 C：増や
- ク A：減少 B：減税 C：減ら

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

⑧ 107 税

税制度について、次の□に当てはまる文を、「所得」、「税率」という二つの言葉を用いて、簡潔に書きなさい。

日本では、所得税や法人税などの直接税と、消費税や酒税などの間接税を組み合わせ採用している。表は、所得税の税率を示したものであり、所得税は、□という累進課税の方法が採られている。

〔表〕 所得税の税率

課税される所得金額	税率
195万円未満	5%
195万円以上 330万円未満	10%
330万円以上 695万円未満	20%
695万円以上 900万円未満	23%
900万円以上 1800万円未満	33%
1800万円以上 4000万円未満	40%
4000万以上	45%

〔国税庁資料〕より作成。2025年4月現在

□

⑧ 108 社会保障

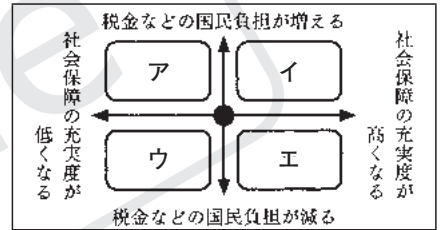
資料1は花子さんが提案した働く環境のあり方についての考えであり、資料2は税金などの国民負担と社会保障の充実度の関係性を示したものである。現在の状況を資料2中の●としたとき、資料1が目指す考えの方向性として最も適当なものを、資料2中のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

資料1

私は、誰もが自分に合った職業に就くことが大切だと思います。しかし、実際にその職に就かないとわからないこともあるので、転職しやすい仕組みがあるとよいと思いました。

そこで私は、海外のように雇用保険料を多く支払うことで、離職後に手当てとして受け取る金額が多くなり、さらに、受け取る期間が長くなる仕組みの導入を提案します。

資料2

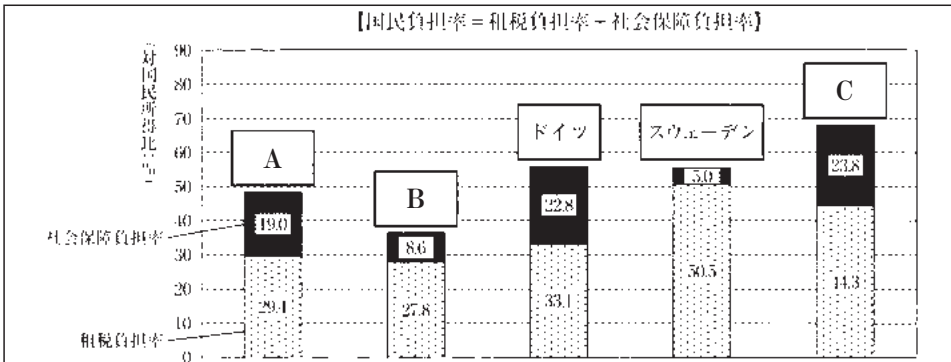


□

⑧ 109 社会保障

ひろみさんの班は、社会保障に関わる費用を国民がどの程度負担しているのかについて調べた。【資料】は2022年(日本は2022年度)の国民負担率の国際比較を表しており、【資料】の□A～□Cには、日本、アメリカ、フランスのいずれかがあてはまる。□A、□Cにあてはまる国名の組み合わせとして最も適当なものを、下のア～カの中から一つ選び、記号を書きなさい。

【資料】



(財務省ホームページより作成)

- ア □A - 日本
- イ □A - 日本
- ウ □A - アメリカ
- エ □A - アメリカ
- オ □A - フランス
- カ □A - フランス
- C - アメリカ
- C - 日本
- C - フランス
- C - アメリカ

□

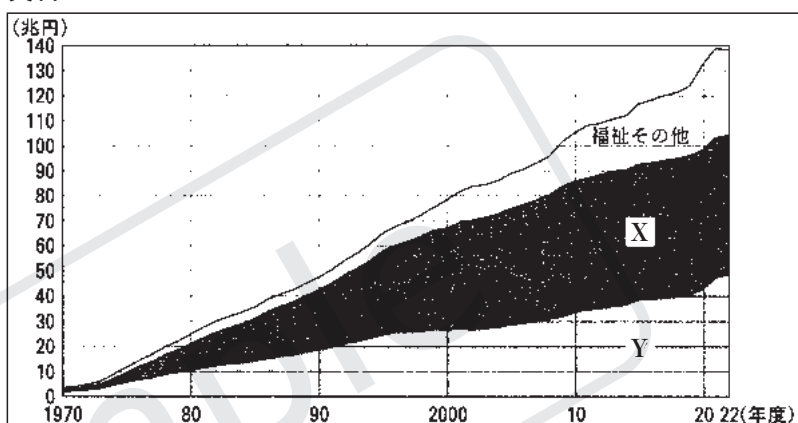
著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

111 社会保障

〈京都〉

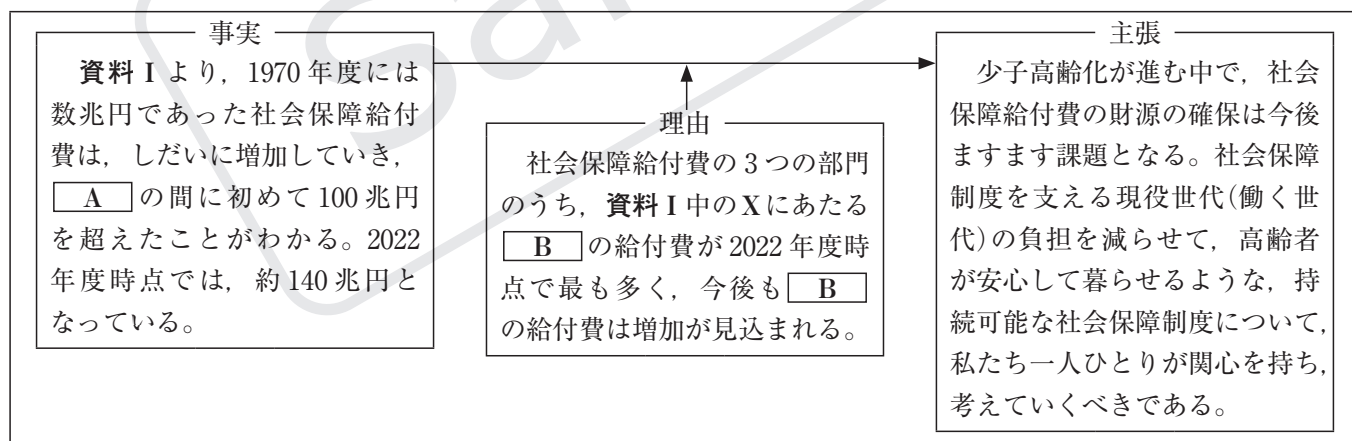
春子さんは、社会保障について考察した。右の資料Ⅰは、1970年度から2022年度までの日本の社会保障給付費の推移を、医療、年金、福祉その他、の3つの部門に区分して示したものでありX・Yの部門はそれぞれ、医療、年金のいずれかである。また、次の資料Ⅱは、春子さんが資料Ⅰを参考にして、日本の社会保障制度のあり方に関する考えをトウルミン図式(トウルミンモデル)を使ってまとめたものの一環である。資料Ⅱ中の□A・□Bに入るものの組み合わせとして最も適当なものを、下のア～エから一つ選びなさい。

資料Ⅰ



国立社会保障・人口問題研究所ホームページより作成

資料Ⅱ



ア A 2000年度から2010年度まで

B 医療

イ A 2000年度から2010年度まで

B 年金

ウ A 2010年度から2020年度まで

B 医療

エ A 2010年度から2020年度まで

B 年金

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。